

(参 考)

平成16年産うんしゅうみかんの予想生産量及び適正生産出荷量

1 予想生産量

「平成16年産みかんの開花状況」(平成16年5月24日公表 農林水産省統計部資料)及び府県からの報告によれば、

- ・ 結果樹面積は、前年産よりやや減少しているの見込まれること、
- ・ 本年産は、開花数がやや少ないことから、着果数は前年産よりやや減少すると見込まれること、
- ・ 単収は、計画的な摘果が進められた平成15年産よりわずかに増加すると見込まれること、

以上から、平成16年産予想生産量は、114万トン程度と見込まれる。

	生産量	結果樹面積	単収
平成11年産	145万t	59,700ha	2,420kg/10a
平成12年産	114万t	58,400ha	1,960kg/10a
平成13年産	128万t	56,300ha	2,280kg/10a
平成14年産	113万t	55,000ha	2,060kg/10a
平成15年産	115万t	53,700ha	2,140kg/10a
平成16年産予想	114万t	52,700ha	2,170kg/10a

注：平成16年産の単収は、近年の開花状況、府県の調査結果等から推計。

その単収に結果樹面積(推定)を乗じることにより、平成16年産の予想生産量を推計。

(参考)「平成16年産うんしゅうみかん生産予想量(開花時点)」(日本園芸農業協同組合連合会調べ)により推定。

「16年産予想生産量の対前年比で、全国で99%と見込まれる。」

平成15年産生産量	前年対比	平成16年産生産予想量
115万t	99%	114万t

2 適正生産出荷量

(1) 需要量

1人当たり純食料の推計値を基に、需要量を111万トン程度と見込む。

① 1人当たり純食料	5.51 kg	
② 人口	127,635 千人	推定人口
③ 純食料	703 千t	①×②
④ 粗食料	937 千t	③÷0.75
⑤ 国内消費仕向量	1,102 千t	④÷0.85
⑥ 輸出	6 千t	近年の実績
⑦ 消費仕向量	1,108 千t	⑤+⑥

※ 1人当たり純食料

平成16年の1人当たりの純食料は、近年(平成15年)の1人当たりの生食用果実の純食料の実績(推計)と加工原料用果実の需要量を基に5.51kgと見込む。

(2) 適正生産量

(1)の需要量から適正生産量を111万トンと見込む。

(3) 適正出荷量

近年のうら年の用途別出荷量比率等を基に以下のとおり見込む。

適正出荷量	98.5万 t
生食用出荷量	86 万 t
加工原料用出荷量	12.5万 t
うち 果汁用	9.5万 t
缶詰用	3 万 t
自家消費・腐敗減耗量	12.5万 t
合計（適正生産量）	111 万 t